

日本周産期・新生児医学会
第39回 周産期学シンポジウム開催概要

(2020年9月11日現在)

テーマ：周産期における社会的支援を考える

会長：長 和俊（北海道大学病院周産母子センター）

会期：2021年1月22日（金）、23日（土）

会場：札幌コンベンションセンター（大ホール）

開催方法については、10月上旬に決まり次第、学会HP・会員の皆様にはメール配信にてお知らせいたします。

★参加登録をされた方は、事前に演題をオンデマンド視聴し、質問やコメントを送信することができます。

★新型コロナウイルス感染症拡大のためWebのみの開催となる可能性があります。

■1月22日（金）

16:00～18:30 プレコングレス（大ホール）

講演1. コンセンサス2020アップデート講習（仮題）

座長：（未定）

演者：細野茂春（自治医科大学附属さいたま医療センター周産期科新生児部）

講演2. 小児の貧困（仮題）

座長：（未定）

演者：松本伊智朗（北海道大学教育学研究院教育学部門教育社会学分野）

講演3. 地域において特定妊婦とその子育てを支える医療機関の役割

座長：古瀬優太（北海道大学病院周産母子センター）

演者：石倉亜矢子（函館中央病院小児科）

19:00～21:00 懇親会（特別会議場）

■1月23日（土）

9:00～16:40（予定） 周産期学シンポジウム：周産期における社会的支援を考える

【午前の部】精神疾患・メンタルヘルス 9:00～12:00

座長：宮越 敬（社会福祉法人聖母病院産婦人科）

小久保雅代（長野県立こども病院総合周産期母子医療センター新生児科）

東京都城南地区における周産期メンタルヘルスケアの取り組み

白土なほ子（昭和大学産婦人科）

産後うつ病のリスクとなる周産期因子、社会的因子の検討

笠井真祐子（山梨県立中央病院総合周産期母子医療センター産科）

多職種連携を要する社会的ハイリスク妊産婦の検討

～精神疾患合併妊娠における支援の実情と課題～

小林知子（名古屋大学産婦人科）

精神疾患関連妊婦における産後のうつ傾向および授乳が母児に与える影響に関する研究

松浦 玲（昭和大学横浜市北部病院産婦人科）

総合討論

【ランチョンセミナー】12:15～13:15

1. ランチョンセミナー1 (大ホール)
2. ランチョンセミナー2 (中ホール)

【午後の部】ハイリスク妊婦・新生児 13:30～16:40 (予定)

座長：村越 毅 (聖隷浜松病院総合周産期母子医療センター)

森岡一朗 (日本大学医学部小児科学系小児科学分野)

特定妊婦および要支援児童への多職種チームでの介入に関する後方視的研究

遠藤真美子 (千葉大学小児科)

宮城県における未受診妊婦・未受診妊婦飛び込み分娩に関する検討～虐待予防の新たな対策～

星合哲郎 (東北大学病院産婦人科)

神戸市母子保健情報を活用した3歳児の発育予後に関連する因子の検討

京野由紀 (神戸大学小児科)

NICU入院児の児童虐待のリスク要因-テキストマイニングによる面接内容の分析

龜山千里 (総合病院土浦協同病院新生児集中治療室)

「依頼演題」すべての妊産婦を支えたい。母子保健における妊産婦支援

～気がかりのある妊婦の把握から支援、医療・福祉との連携について～

鍛治みか (和泉市立保健センター和泉市子育て健康部健康づくり推進室 健康増進担当)

総合討論

シンポジウム参加費：

全て事前登録とします。^{注1・注2}

参加費には演題のWebでのオンデマンド視聴の権利が含まれます。

事前登録期間 2020年9月23日(水)～12月21日(月) ※登録期間締め切りは延長予定

医師 11,000円

医師以外の有職者 5,000円

学生 無料

医師：初期研修医、専攻医を含む

医師以外の有職者：看護師、助産師、保健師、行政職など

学生：大学生、医師以外の大学院生など

注1：新型コロナウイルス感染症拡大のためWebのみの開催となる可能性があります。

注2：事前登録の参加費は原則として返金できません。

懇親会参加費：無料^{注3}

注3：Webのみの開催の場合、懇親会は行われません。

事務局(連絡先)：株式会社コングレ北海道支社

〒060-0005 札幌市中央区北5条西5丁目2-12 住友生命札幌ビル

TEL：011-233-0005 FAX：011-233-0035